展示・教育普及

所蔵作品展

展示の概要

県民がいつでも20世紀の美術の展開とその特質に触れることができる展示を提供すると同時に、来館者の多様化する関心に考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術傾向や作品群に焦点をあてた特集展示を行なった。

平成13年度から年に一度全館を使用して開催している全館所蔵作品展では、愛知県文化会館美術館が開館して50年を迎えたのを機会に、美術館半世紀の歴史をコレクションによって振り返る「美術館50年の歩み」を開催した。

小規模企画展であるテーマ展では、主として当地方で制作あるいは発表活動を行なっている若手作家を取り上げているが、平成17年度は田原市出身の藤城凡子による「ラブレター」と題した展示を行った。

平成13年度以降、数多くの美術品の寄贈を受けた木村定三コレクションについては、展示室一室をあてて常時公開した。

2005（平成17）年所蔵作品展開催状況と入場者数

展示期	会期	入場者数	1日平均
2005（平成17）年度第Ⅰ期	2005年5月24日－9月25日（96日間）	132,821人	1,384人
特集展示 「愛知の美術Ⅱ」 「愛知の美術Ⅲ」 木村定三コレクション室 「木村定三コレクション」	 5月24日－7月17日 7月26日－9月25日		
内訳 企画展共通入場者数		131,301人	1,368人
内訳 所蔵作品展のみの入場者数		1,520人	16人
展示期	会期	入場者数	1日平均
第Ⅱ期	2005年10月7日－12月4日（51日間）	9,302人	182人
全館所蔵作品展 「コレクションでたどる美術館50年の歩み」 木村定三コレクション室 「木村定三コレクション」	 10月7日－12月4日		
内訳 所蔵作品展のみの入場者数		9,302人	182人
展示期	会期	入場者数	1日平均
第Ⅲ期	2005年12月16日－2006年5月7日 （3月31日までの集計）（76日間）	15,517人	204人
テーマ展 「藤城凡子　ラブレター」 木村定三コレクション室 「木村定三コレクション」 特集展示 「アンドリュー・ワイエス」	 12月16日－2月26日 3月10日－5月7日		
内訳 企画展共通入場者数（3月31日までの集計）		14,092人	185人
内訳 所蔵作品展のみの入場者数（3月31日までの集計）		1,425人	19人
2005（平成17）年度　合計（223日間）		157,640人	707人
内訳 企画展共通入場者数		145,393人	652人
内訳 所蔵作品展のみの入場者数		12,247人	55人

2005（平成17）年度合計入場者欄及び内訳欄は、～3/31までの集計

所蔵作品展　展示作品リスト

■2005（平成17）年度第Ⅰ期

愛知万博の開催にあわせて「20世紀の美術」としてコレクションを代表する作品を紹介するとともに、地元、愛知の美術動向についてもシリーズで特集展示を行った。この期間は、万博開催にあわせて「アジアの潜在力展（前期）」「ゴッホ展（後期）」と大規模な企画展を開催したため、展示面積に制約が生じ、コレクションの特徴と魅力を必ずしも十分には紹介できなかった。しかし、ゴッホ展が記録的な入場者となったことで、所蔵作品展への入場者数も大幅に増加した。

前期（5月24日－7月10日）

展示室5　20世紀の美術

〈絵画〉

パブロ・ピカソ
青い肩掛けの女　1902

藤田　嗣治
青衣の少女　1925

梅原　龍三郎
横臥裸婦　1908

ラウル・デュフィ
サンタドレスの浜辺　1906

ピエール・ボナール
にぎやかな風景　1913頃

アンリ・マティス
待つ　1921-22

高橋　由一
不忍池　1880頃

黒田　清輝
暖き日　1897

青木　繁
海　1904

岸田　劉生
斉藤与里氏像　1913

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
グラスのある静物　1912

グスタフ・クリムト
人生は戦いなり（黄金の騎士）　1903

エミール・ノルデ
静物L（アマゾーン、能面等）　1915

ライオネル・ファイニンガー
夕暮れの海Ⅰ　1927

村井　正誠
Cité B　1940

フランティシェク・クプカ
灰色と金色の展開　1919

ジャック・ヴィヨン
存在　1920

ジョージア・オキーフ
抽象　第6番　1928

古賀　春江
夏山　1927

パウル・クレー
女の館　1921

ジョアン・ミロ
絵画　1925

ポール・デルヴォー
こだま（あるいは「街路の神秘」）　1943

マックス・エルンスト
ポーランドの騎士　1954

熊谷　守一
鳥　1938

長谷川　利行
酒売場　1927

小出　楢重
蔬菜静物　1925

海老原　喜之助
雪山と樵　1930

アンディ・ウォーホル
レディーズ・アンド・ジェントルメン　1975

サム・フランシス
消失に向かう地点の青　1958

モーリス・ルイス
デルタ・ミュー　1960-61

アド・ラインハート
No.114　1950

桑山　忠明
茶白青　1968

中村　一美
破舎仏涅槃図Ⅰ　1993-95

荒川　修作
Blank Stations　1981-82

辰野　登恵子
Untitled 95-1　1995

フランク・ステラ
リヴァー・オヴ・ポンズ Ⅳ　1969

〈彫刻・立体〉

オーギュスト・ロダン
歩く人　1900

荻原　守衛
女の胴　1907

ジョージ・シーガル
ロバート＆エセル・スカルの肖像　1965

ルイーズ・ニーヴェルソン
漂う天界　1959-66

展示室6　愛知の美術Ⅱ
－日本画：1950～60年代を中心に－

〈絵画〉

嶋谷　自然
緑影　1950

杉本　健吉
阿修羅像　1958

我妻　碧宇
大仏殿暮色　1950

平川　敏夫
萌林　1960

藤井　達吉
樹　1957頃

藤井　達吉
日の出　1957頃

片岡　球子
足利家の人々　1979

星野　真吾
喪中の作品（昇天）　1965

水谷　勇夫
玩具　1960

展示室7　愛知の美術Ⅱ
－洋画：1950～60年代を中心に－

〈絵画〉

横井　礼以
苔と老人　1960

横井　礼以
三つ面　1953

北川　民次
砂の工場　1959

荻須　高徳
サンドニ　1964

杉本　健吉
正倉院　1976

鬼頭　鍋三郎
マドモアゼルM　1954

太田　三郎
美を審かれる三美神　1957

吉木　弘
窓辺（居間にて）　1980

笠井　誠一
室内　1964

島田　章三
スザンナの部屋　1968

坂井　範一
古い物語A　1970

坂井　範一
古い物語B　1970

〈彫刻・立体〉

山本　豊一
聴　1966頃

展示室8　木村定三コレクション室 －鏡－

〈工芸〉

青銅嵌玉　細文地花文鏡　戦国　前3-4世紀

青銅　細文地四龍文鏡　秦～前漢　前1-3世紀

青銅　細文地三龍文鏡　秦～前漢　前1-3世紀

青銅　細文地方格規矩四龍文鏡　前漢　前1-2世紀

青銅　方格規矩四神文鏡　前漢　前1-2世紀

青銅　四神獣文鏡　前漢　前1-2世紀

青銅　重圏「日月」鏡　前漢　前1-2世紀

青銅　方格規矩四神文鏡　新　1世紀

青銅　竹叢双犀文鏡　唐　8-9世紀

青銅　半円方格神獣文鏡　東晋　4-5世紀

青銅　仙宮図鏡　宋あるいは高麗　10-14世紀

青銅彩画　双魚文鏡　高麗　10-14世紀

青銅　双鳳文葵花形鏡　南宋～元　12-14世紀

青銅　列線乳文鏡（倣製）　古墳時代　4-7世紀

青銅　変形獣文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　変形龍文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　綟形文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　多乳文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　四鈴変形獣文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　方格規矩四獣文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　五鈴変形獣文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　五鈴変形獣文鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　重圏鏡　古墳時代　4-7世紀

青銅　蓬莱鏡　平安時代後期　11-12世紀

青銅　松喰鶴文鏡　平安時代後期　11-12世紀

青銅　松喰鶴文鏡　平安時代後期　11-12世紀

青銅　草花鳥蝶文鏡　平安時代後期～鎌倉時代　11-14世紀

青銅　秋草双鳥文鏡　鎌倉時代　14世紀

青銅　草花鳥蝶文鏡　鎌倉時代～南北朝時代　14世紀

ロビー、ラウンジ

〈絵画〉

中村　正義
顔　1976

中村　正義
舞妓　1974

〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コールダー
ゴースト　1976

久野　真
鋼鉄による作品　1959

山本　豊市
スツール　1975

〈工芸〉

藤井　達吉
野立具一式　1946頃

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン
カリブの女　1983

アルナルド・ポモドーロ
飛躍の瞬間　1984

加藤　昭男
大地　1986

小田　襄
円柱の構造　1988

今井　瑾郎
大地　1992

後期（7月26日－9月25日）

展示室5　20世紀の美術

〈絵画〉

パブロ・ピカソ
青い肩掛けの女　1902

藤田　嗣治
青衣の少女　1925

高橋　由一
不忍池　1880頃

黒田　清輝
暖き日　1897

青木　繁
海　1904

岸田　劉生
斉藤与里氏像　1913

梅原　龍三郎
横臥裸婦　1908

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
グラスのある静物 1912

グスタフ・クリムト
人生は戦いなり（黄金の騎士） 1903

エミール・ノルデ
静物 L(アマゾーン、能面等) 1915

ラウル・デュフィ
サンタドレスの浜辺 1906

ピエール・ボナール
にぎやかな風景 1913頃

アンリ・マティス
待つ 1921-22

ライオネル・ファイニンガー
夕暮れの海 I 1927

村井　正誠
Cité B 1940

フランティシェク・クプカ
灰色と金色の展開 1919

ジャック・ヴィヨン
存在 1920

古賀　春江
夏山 1927

パウル・クレー
女の館 1921

ジョアン・ミロ
絵画 1925

ポール・デルヴォー
こだま(あるいは「街路の神秘」) 1943

マックス・エルンスト
ポーランドの騎士 1954

海老原　喜之助
雪山と樵 1930

小出　楢重
蔬菜静物 1925

長谷川　利行
酒売場 1927

熊谷　守一
鳥 1938

桑山　忠明
茶白青 1968

アド・ラインハート
No.114 1950

モーリス・ルイス
デルタ・ミュー 1960-61

サム・フランシス
消失に向かう地点の青 1958

フランク・ステラ
リヴァー・オヴ・ポンズ IV 1969

荒川　修作
Blank Stations 1981-82

中村　一美
破舎仏涅槃図 I 1993-95

辰野　登恵子
Untitled 95-1 1995

〈彫刻・立体〉

オーギュスト・ロダン
歩く人 1900

荻原　守衛
女の胴 1907

ハンス・アルプ
森 1917頃

ジョージ・シーガル
ロバート＆エセル・スカルの肖像 1965

ルイーズ・ニーヴェルソン
漂う天界 1959-66

展示室6　愛知の美術Ⅲ

〈絵画〉

浅野　弥衛
作品（フロッタージュ） 1983

椹田　伸也
通り過ぎた風景 1982

今村　幸生
ムムイエ族の闇 1995

〈立体〉

野水　信
六面体をくぐりぬける円環 1980

久野　真
鋼鉄による作品 1982

原　裕治
アポクリファ　No. 1 1994

原　裕治
アポクリファ　No. 2 1994

展示室7　愛知の美術Ⅲ

〈絵画〉

嶋谷　自然
阿蘇 1981

高畑　郁子
聖界 1980

加藤　東一
伝承 1982

杉本　健吉
正倉院 1976

丹羽　和子
朱い糸 1980

加藤　金一郎
樹の下のメルカード（グァテマラ） 1980

笠井　誠一
ウクレレとグロリオサのある卓上静物 1995

島田　鮎子
白の想い 1997

島田　章三
人と植物のようす 1994

稲垣　考二
陽光 1990

三尾　公三
Palm Beach 昼下り 1989

星野　真吾
正夢か 1981

展示室8　木村定三コレクション室 －熊谷守一－

〈絵画〉

熊谷　守一
裸 1937

熊谷　守一
漁村 1954

熊谷　守一
土饅頭 1954

熊谷　守一
たまご 1959

熊谷　守一
雨滴 1961

熊谷　守一
白猫 1962

熊谷　守一
蝦蟇に蟻 1938

熊谷　守一
鯰に虹 1939

熊谷　守一
不動明王 1940

熊谷　守一
機織虫 1944

熊谷　守一
ゲンゴロウ 1952

熊谷　守一
磯撫子にイチモジ蝶 1966

〈書〉

熊谷　守一
無　1940

熊谷　守一
天地自在　1942

熊谷　守一
ほとけさま　1950

熊谷　守一
すずめ　1950

熊谷　守一
福は内鬼は外　1963

熊谷　守一
お前百までわしやいつまでも　1973

〈彫刻〉

熊谷　守一
裸　1952

熊谷　守一
はだか　1952

熊谷　守一
臥裸婦　1955

〈工芸〉

熊谷　守一
二匹かまきり図壺　1943

前室

〈絵画〉

小川　博史
北風　1982

中澤　英明
子供の顔　ウサギ　2003

中澤　英明
子供の顔　鴨　2004

〈素描〉

庄司　達
原形と写形　Ｎｏ．２　1978

〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コールダー
片膝ついて　1944-48

加藤　昭男
ツタンカーメンのえんどう豆　1996

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン
カリブの女　1983

アルナルド・ポモドーロ
飛躍の瞬間　1984

加藤　昭男
大地　1986

小田　襄
円柱の構造　1988

今井　瑾郎
大地　1992

■2005（平成17）年度第Ⅱ期

愛知県文化会館美術館開館以来50周年を迎えたのを記念して、コレクションの形成を軸に美術館活動の歴史を振り返った。そのなかで、戦後社会にあって美術館がどのような位置にあってその活動を続けてきたのか、この地域社会において愛知県美術館が求められ、また果たしてきた役割は何だったのかを確認するとともに、市民社会が成熟へと向かうなかで、今後美術館がどうあるべきかを考える機会ともした。展覧会は50年に及ぶ活動の一端がコレクションとして蓄積されてきたことを示すことができた。また、学芸員全員による展示作品解説をはじめとする教育普及事業にも力を注ぎ、企画展の開催に偏重しがちな美術館活動とその利用にたいして、コレクションを蓄積していくことの重要さを伝えることができた。

展覧会は以下の４章で構成した。

・戦後復興の象徴としての美術館　1950年代
・高度経済成長と社会の成熟のなかで　1960～1980年代
・美術館建設ラッシュとバブル経済のなかで　1987年～1998年
・21世紀の美術館を求めて

会期（10月７日－12月４日）

展示室１

エミール=アントワーヌ・ブールデル
勝利　1916

エミール=アントワーヌ・ブールデル
雄弁　1916

エミール=アントワーヌ・ブールデル
自由　1916

エミール=アントワーヌ・ブールデル
力　1914-15

太田　三郎
カフェーの女　1914

太田　三郎
婦人像　1915頃

太田　三郎
三嬌図　1929

太田　三郎
美を審かれる三美神　1957

藤井　達吉
山芍薬　1921頃

藤井　達吉
あざみ　1932頃

藤井　達吉
葡萄ともみじ　1930代

藤井　達吉
一閑張すほう染手箱　1940

藤井　達吉
継色紙風蓋物　1947頃

藤井　達吉
やまかげ　1956頃

藤井　達吉
かしわもち　1956頃

藤井　達吉
草花　1956頃

藤井　達吉
扇面流し　1954

【近代日本の美術　1】

青木　繁
太田の森　1902

安井　曾太郎
婦人像　1912頃

梅原　龍三郎
若き羅馬人　1909

坂本　繁二郎
海岸の家　1915

岸田　劉生
斉藤与里氏像　1913

中村　彝
少女裸像　1914

河野　通勢
自画像　1917

小出　楢重
N婦人像　1918

萬　鐵五郎
紅葉風景　1926

古賀　春江
夏山　1927

海老原　喜之助
雪山と樵　1930

海老原　喜之助
ゲレンデ　1930

前田　寛治
褐衣婦人像　1925

須田　国太郎
夏　1941

高田　博厚
女のトルソ　1937

横井　礼以
室内静物　1926

宮脇　晴
お手玉の少女　1922

宮脇　晴
子等遊ぶ渓　1943

大沢　鉦一郎
大曽根風景　1919

大沢　鉦一郎
自画像　1919

大沢　鉦一郎
ジンベを着た少女　1920

大沢　鉦一郎
少女海水浴　1932

展示室2

松下　春雄
二人のポーズ　1933

伊藤　廉
肘をつく女　1929

伊藤　廉
ギター奏手　1932

伊藤　廉
水牛の喧嘩　1937

佐分　真
アパッシュ・シャルボニエ　1931頃

佐分　真
裸婦　1930代

佐分　真
ステッキの老人　1932

佐分　真
印度の女　1930

鬼頭　鍋三郎
浴後　1938

鬼頭　鍋三郎
マドモアゼルM　1954

鬼頭　鍋三郎
二人のバレリーナ　1952

宮田　重雄
パリ・サンルイ病院裏　1930

荻須　高徳
線路に面した家　1955

荻須　高徳
サン・ドニ　1964

山本　豊市
スツール　1975

鳥海　青児
うずくまる　1954

古茂田　守介
裸婦A　1957

山田　光春
人も牛も　1954

香月　泰男
散歩　1953

山口　薫
ボタン雪と騎手　1953

金山　康喜
静物　1956

小磯　良平
室内A　1972

牛島　憲之
埋れる船　1962

森　芳雄
アクロポリス　1963

笠井　誠一
室内　1964

桂　ゆき
人と魚　1954

鶴岡　政男
夜　1955

眞島　建三
原始言語　1963

柳原　義達
風の中の鴉　1982

舟越　保武
シオン　1979

糸園　和三郎
丘の或る日　1979

島田　鮎子
卓上にて　1974

木村　忠太
ヌムールの運河　1966

三尾　公三
鏡の前　1982

佐々木　豊
おんなの部屋　1979

中村　正義
人物　1958頃

中村　正義
峠への路　1960

中村　正義
ピエロ　1963

中川　とも
歓異鈔　1968

片岡　球子
足利家の人々　1979

三上　誠
経絡万華経　1967

三上　誠
環1・経絡　1967

星野　真吾
正夢か　1981

山本　丘人
幻雪　1978

吉田　善彦
雨余桂林　1982

杉本　健吉
阿修羅像　1958

加山　又造
黒い鳥　1957

平川　敏夫
萌林　1960

大森　運夫
島の鬼太鼓　1976

田渕　俊夫
青木ケ原　1969

竹内　浩一
風　1981

小松　均
富士山(上)　1977

小松　均
富士山(下)　1977

【近代日本の美術　2】

高橋　由一
不忍池　1880頃

浅井　忠
八王子付近の街　1887

久米　桂一郎
秋景　1892

黒田　清輝
暖き日　1897

梅原　龍三郎
横臥裸婦　1908

岸田　劉生
高須光治君之肖像　1915

中村　彝
静物　1915頃

小出　楢重
蔬菜静物　1925

安井　曾太郎
承徳喇嘛廟　1938

神原　泰
生命の流動　1924

村井　正誠
ゴルフジュアンの船　1929

藤田　嗣治
青衣の少女　1925

国吉　康雄
帽子の女　1920頃

清水　登之
建築現場(ワーガーデン)　1923

北川　民次
メキシコ三童女　1937

長谷川　利行
酒売場　1927

長谷川　利行
ノアノアの少女　1937

熊谷　守一
鳥　1938

靉光
自顔像　1934

靉光
編み物をする女　1934

松本　竣介
ニコライ堂　1941

【版画コレクション】

ロベルト・マッタ
ホメロス　Ⅳ『拠点』　1983

ジョルジュ・ブラック
裸婦習作　Aug-1907

パブロ・ピカソ
果物皿のある静物　1909

ジョルジュ・ブラック
小さなキュビスム的ギター　1909-10(1954)

ジョルジュ・ブラック
Pale Ale　1912(1954)

ジョルジュ・ブラック
Bass　1911(1950)

パブロ・ピカソ
男の頭部　1911(1912)

パブロ・ピカソ
ギターを持つ男　1915(1929)

ジャック・ヴィヨン
横顔のイヴォンヌ　1913

ルイ・マルクーシ
ギョーム・アポリネールの肖像　1912-20

瑛九
驚き　1951

瑛九
作品　制作年不詳

ラースロー・モホリ=ナジ
コンストラクション「ケストナー版画集6」より　1922-1923

ヴァシリー・カンディンスキー
夕暮れ　1903

ヴァシリー・カンディンスキー
鏡　1907

オスカー・ココシュカ
版画集『夢みる少年たち』　1907

エゴン・シーレ
しゃがみこむ女　1914(1919)

ケーテ・コルヴィッツ
青い服の女　1903

マックス・ベックマン
自画像　1919

エミール・ノルデ
騎士　1906

エーリヒ・ヘッケル
疲れ　1913

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
三本の道　1917

恩地　孝四郎
卓上静物　1918

恩地　孝四郎
丘頂　1917頃

藤牧　義夫
まくら橋　1934

藤牧　義夫
銀行　1933

川上　澄生
異国雨の夕景　1924(1925)

深沢　索一
丘上走土　1925

藤森　静雄
夜『月映Ⅰ』より　1914

田中　恭吉
太陽と花『月映Ⅰ』より　1913

田中　恭吉
病める夕『月映Ⅰ』より　1913

恩地　孝四郎
抒情Ⅰ『月映Ⅰ』より　1914

谷中　安規
自画像　1932

谷中　安規
蝶を吐く人　1933

長谷川　潔
酒杯の草花　1963

長谷川　潔
メキシコの鳩　静物画　1966

長谷川　潔
本の上の小鳥　静物画　1967

ヘンリー・ムーア
シェルター・スケッチブック　1967

アレクセイ・クルチョーヌィフ
『爆』第2版　1913

フェルナン・レジェ
天使N－Dが撮影した世界の終わり　1919

ブリュッケ展カタログ版画集　1910

バウハウスマイスター版画作品集　1923

アンリ・マティス
マラルメ詩集　1948

アンリ・マティス
ロンサール恋愛歌集　1948

パブロ・ピカソ
変身物語 1931

ヴォルス
ヴォルス版画集 1962

蒲原　有明
『春鳥集』 1905

蒲原　有明
『月映』

蒲原　有明
『詩と版画』

蒲原　有明
『版芸術』

蒲原　有明
『白と黒』

本野盛一(長谷川潔画)
『竹取物語』 1934

展示室３

【素描と彫刻－人体】

安井　曾太郎
人体(男) 1907

安井　曾太郎
人体(女) 1907

大沢　鉦一郎
手 1918

大沢　鉦一郎
手 1916

宮脇　晴
手 1923

戸張　孤雁
立てる女 1911

中原　悌二郎
エチュード 1914

戸張　孤雁
立てる女 制作年不詳

戸張　孤雁
替女の三味線の竿 制作年不詳

戸張　孤雁
足芸 制作年不詳

戸張　孤雁
綱渡り 制作年不詳

オーギュスト・ロダン
歩く人 1900

パウル・クレー
回心した女の堕落 1939

中村　正義
顔 1975

三上　誠
カップサイズ 1965頃

近藤　文雄
裁き 1962

池田　龍雄
作品56「化物の系譜」シリーズより 1956

池田　龍雄
顔「化物の系譜」シリーズより 1956

筧　忠治
横顔３ 1949

筧　忠治
正面の顔１ 1930

筧　忠治
裸体習作 1938

稲垣　考二
胸像 1944

メダルド・ロッソ
病める子 1893

前室１

戸谷　成雄
双影体Ⅱ 2001

展示室４

【20世紀の美術　1】

エルンスト・バルラッハ
忘我 1911-1912

ヴィルヘルム・レームブルック
立ち上がる青年 1913

グスタフ・クリムト
人生は戦いなり（黄金の騎士） 1903

エミール・ノルデ
静物Ｌ(アマゾーン、能面等) 1915

ジョルジュ・ミンヌ
聖遺物箱を担ぐ少年 1897

ケーテ・コルヴィッツ
恋人たちⅡ 1913

エドゥワール・ヴュイヤール
窓辺の女 1898

アルベール・マルケ
ノートルダムの後陣 1902

ピエール・ボナール
子供と猫 1906頃

アンリ・マティス
待つ 1921-1922

ピエール・ボナール
にぎやかな風景 1913頃

パブロ・ピカソ
青い肩かけの女 1902

アレクサンダー・アーチペンコ
歩く女 1912

アメデオ・モディリアーニ
カリアティード 1911-13

ハンス(ジャン)・アルプ
星座 1932

ジョアン・ミロ
絵画 1925

フランティシェク・クプカ
灰色と金色の展開 1919

ジャック・ヴィヨン
存在 1920

ジャーコモ・バッラ
太陽の前を通過する水星（習作） 1914

ジャーコモ・マンズー
踊りのステップ 1953

ポール・デルヴォー
こだま（あるいは「街路の神秘」） 1943

マックス・エルンスト
ポーランドの騎士 1954

パウル・クレー
女の館 1921

ライオネル・ファイニンガー
夕暮れの海Ⅰ 1927

ジョージア・オキーフ
抽象　第6番 1928

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
日の当たる庭 1935

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
グラスのある静物 1912

展示室５

【20世紀の美術　2】

ジム・ダイン
芝刈機 1962

アンディ・ウォーホル
レディース・アンド・ジェントルメン 1975

ルイーズ・ニーヴェルソン
漂う天界 1959-66

桑山　忠明
茶白青 1968

オノサトトシノブ
三つの黒 1958

ルーチョ・フォンターナ
空間概念 1960

斎藤　義重
作品　1962

アントニ・タピエス
コンポジション　1977

瑛九
黄色い花　1957-58

山田　正亮
Work No.B 182　1958

アド・ラインハート
No.114　1950

アレクサンダー・コールダー
片膝ついて　1944(1968)

中西　夏之
紫・むらさき XIX　1983

宇佐美　圭司
長い歩み　1964

元永　定正
作品　1961

菅井　汲
ナショナル・ルート No.11　1964

伊藤　誠
頂上　2004

加納　光於
流動のセミオティク　1982

山口　長男
屏形　1963

細井　篤
ボーダーズ・ゲーム　2004

【近代日本の美術　3】

橋本　雅邦
秋景山水図　1887

山元　春挙
渓村暮靄図　1900頃

川合　玉堂
湖畔晩帰　1928

竹内　栖鳳
狐狸図　1908頃

小林　古径
洗濯場　その1　1926

小林　古径
洗濯場　その2　1926

速水　御舟
西郊小景　1923

小茂田　青樹
漁村早春　1921

安田　靫彦
月の兎　1934

横山　大観
飛泉　1900頃

菱田　春草
紅葉山水　1908頃

小川　芋銭
沼四題　小鰕網　1922

小川　芋銭
沼四題　泥鰌打　1922

前田　青邨
朝鮮五題　水汲　1939

前田　青邨
朝鮮五題　魚売　1939

橋本　関雪
猿猴待月　1938頃

鏑木　清方
蛍　1938

伊東　深水
大島の黎明　1916

村上　華岳
梅渓山道　1914

土田　麦僊
南国早春　1915頃

入江　波光
南欧小景　1923

水谷　勇夫
玩具　1960

麻生　三郎
胴体と頭と電球　1964

脇田　和
断層の人と鳥　1960

櫃田　伸也
通り過ぎた風景　1982

島田　章三
石庭女人図　1976

平松　礼二
峠四題　路・家路　1992

東山　魁夷
雪の山郷　1991

平山　郁夫
楼蘭の遺跡・昼　1990

展示室6

フランツ・ゲルチュ
ナターシャ IV　1987-88

桜倉　康二
干渉(Story-No.49)　1992

堀　浩哉
風の音へ－84・2　1984

堀　浩哉
水の肌へ－84・2　1984

舟越　桂
肩で眠る月　1996

杉戸　洋
the Wave　2002

展示室7

【近年の寄贈作品より】

秋岡　美帆
ゆれるかげ　1991

杉本　健吉
秘苑　1971

杉本　健吉
婦人像　1972

杉本　健吉
椿・パイナップル　1989

杉本　健吉
聚楽園大仏　1988

杉本　健吉
邪鬼　1955

杉本　健吉
火牛下図　制作年不詳

森岡　完介
Beethoven at the beach - Message 86-11N　1986

磯見　輝夫
鳥の如く　1988

吉岡　弘昭
23番街の悪漢　1981

辰野　登恵子
Aug-86-9　1986

辰野　登恵子
Oct-86-5　1986

展示室8

【木村定三コレクション】

銅鋳製経筒　平安後期 1147

青玉　璧　中国 新石器時代 BC4000-BC2500

青玉　穀粒獣文璧　中国 前漢時代 BC2-BC1

玉琮　中国 西周時代 BC11-BC8

玉琮　中国 西周時代 BC11-BC8

玉　器台　中国 殷～西周時代 BC16-BC8

青玉　琮　中国 清時代 17-19c.

青銅　蟠螭文壺　中国 春秋時代 BC8-BC5

青銅　博山炉　中国 前漢時代 BC2-BC1

青銅透彫　雲気文香炉（行炉）　中国 前漢時代 BC2-BC1

青銅　灯　中国 前漢時代 BC2-BC1

石造三尊仏坐像　中国 北魏時代(延昌4(515)銘)

方形三尊塼仏　白鳳時代 7世紀後半

瓦経（筑前飯盛山出土）　平安後期 12世紀後半

黒織部茶碗　銘　菱餅　桃山時代 17世紀

志野茶碗　銘　鵬　桃山時代 16-17世紀(11月24日まで展示)

小山　冨士夫
種子島茶碗　銘　月世界　1970代

熊谷　守一
裸　1937

熊谷　守一
麦畑　1939

熊谷　守一
伸餅　1949

熊谷　守一
朝の日輪　1955

熊谷　守一
梅　1956

熊谷　守一
石亀　1957

熊谷　守一
瓜　1965

熊谷　守一
白仔猫　1958

熊谷　守一
猫　1965

前室２

工藤　哲巳
果てしなく綾糸がからまるマルセル・デュシャン　1977

柳原　義達
裸婦　1993

柳原　義達
裸婦　1992

柳原　義達
鳩　1990代

柳原　義達
鳩　1993

柳原　義達
鳩　1991

荒木　高子
砂の聖書　1983

石造三尊仏坐像　中国 北魏時代(6世紀前半) 木村定三コレクション

加藤　昭男
ツタンカーメンのえんどう豆　1996

ロビー

モーリス・ルイス
デルタ・ミュー　1960-61

ジョージ・シーガル
ロバート＆エセル・スカルの肖像　1965

フランク・ステラ
リヴァー・オヴ・ポンズ IV　1969

ラウンジ

庄司　達
黄色い布による空間(糸の柱)'98　1998

屋外展示スペース

今井　瑾郎
大地　1992

小田　襄
円柱の構造　1988

コルネリス・ジットマン
カリブの女　1983

アルナルド・ポモドーロ
飛躍の瞬間　1984

加藤　昭男
大地　1986

■2005（平成17）年度第Ⅲ期

この期は、20世紀の美術を中心とする通常の開催形態に戻した。前期では、開催中の「吉原治良展」に合わせて、具体美術の活動に参加した作家など吉原に関係する作家を20世紀の美術の展示のなかに意識的に加えた。また、テーマ展では、新しい世代の作家として藤城凡子を取り上げた。後期では、会期中から名古屋市美術館との共同企画として「桑山忠明　ワンルーム・プロジェクト　2006」（４月８日－５月21日、６月２日－７月23日）を開催した。またその関連する作品を、20世紀の美術のなかで重点的に展示した。

前期（12月16日－2006年２月26日）

展示室４　20世紀の美術Ⅰ

パブロ・ピカソ
青い肩掛けの女　1902

アンリ・マティス
待つ　1921-22

ラウル・デュフィ
サンタドレスの浜辺　1906

ピエール・ボナール
子供と猫　1906頃

ピエール・ボナール
にぎやかな風景　1913頃

アルベール・マルケ
ノートルダムの後陣　1902

アメデオ・モディリアーニ
カリアティード　1911-13

アメデオ・モディリアーニ
黒い瞳の女　1918

藤田　嗣治
青衣の少女　1925

海老原　喜之助
ゲレンデ　1930

梅原　龍三郎
横臥裸婦　1908

野口　弥太郎
門　1931頃

矢橋　六郎
女の肖像　1936

林　武
婦人像　1940

村井　正誠
ゴルフジュアンの船　1929

村井　正誠
Cité B　1940

山田　光春
蠢　1937

山田　光春
門　1936

フランティシェク・クプカ
灰色と金色の展開　1919

ジャック・ヴィヨン
存在　1920

ライオネル・ファイニンガー
夕暮れの海 I　1927

パウル・クレー
女の館　1921

ジョージア・オキーフ
抽象　第6番　1928

ジョアン・ミロ
絵画　1925

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
グラスのある静物　1912

エミール・ノルデ
静物 L（アマゾーン、能面等）　1915

グスタフ・クリムト
人生は戦いなり（黄金の騎士）　1903

〈彫刻〉

高田　博厚
女のトルソ　1937

展示室５　20世紀の美術Ⅱ

瑛九
黄色い花　1957-58

オノサトトシノブ
三つの黒　1958

山田　正亮
Work No.B 182　1958

山口　薫
ボタン雪と騎手　1953

麻生　三郎
胴体と頭と電球　1964

山口　長男
屏形　1963

田淵　安一
有機的表象　1955

脇田　和
断層の人と鳥　1960

ニコラ・ド・スタール
コンポジション　1948

アントニ・タピエス
コンポジション　1977

コーナー展示「吉原治良の仲間たち」

元永　定正
作品　1961

斎藤　義重
ゼロイスト　1973（1950）

斎藤　義重
作品　1962

須田　剋太
作品1984曼陀羅　1984

白髮　一雄
作品　1963

白髮　一雄
黒大佛　1988

サム・フランシス
消失に向かう地点の青　1958

ルーチョ・フォンターナ
空間概念　1960

モーリス・ルイス
デルタ・ミュー　1960-61

桑山　忠明
茶白青　1968

フランク・ステラ
リヴァー・オヴ・ポンズ IV　1969

野見山　暁治
伝承のかたち　1988

加納　光於
流動のセミオティク　1982

中村　一美
破舎仏涅槃図 I　1993-95

辰野　登恵子
Untitled 95-1　1995

榎倉　康二
干渉（Story-No.49）　1992

〈彫刻・立体〉

ジョージ・シーガル
ロバート＆エセル・スカルの肖像　1965

ルイーズ・ニーヴェルソン
漂う天界　1959-66

展示室６　テーマ展
藤城凡子「ラブレター」

〈絵画〉

藤城　凡子
惑星　ほか　2005

展示室７　現代の美術

中澤　英明
子供の顔　クマ　2001

中澤　英明
子供の顔　ウサギ　2003

中澤　英明
子供の顔　アヒル　2004

中澤　英明
子供の顔　ドラセナ・マッサン（幸福の樹）　2004

中澤　英明
子供の顔　蟷螂　2004

中澤　英明
子供の顔　地蔵　2004

森　万里子
Mirage（ImageD）　1997-98

杉戸　洋
the Second Lounge　2002

森村　泰昌
Doublonge（Dancer 2）　1988

長谷川　純
IAO　2002

村上　隆
HIROPON　1994

細井　篤
ボーダーズ・ゲーム　2004

展示室８　木村定三コレクション室
近代日本の美術

〈絵画〉

長谷川　利行
（ガラス絵）　19**

長谷川　利行
ノアノアの少女　1937

岸田　劉生
大菩薩峠清澄茂太郎図　1929

岸田　劉生
厨房新鮮図　制作年不詳

岸田　劉生
王母千年実図　1929頃

岸田　劉生
秋閑小彩図　制作年不詳

岸田　劉生
秋山隠士図　1929

岸田　劉生
翡翠柳図　制作年不詳

岸田　劉生
洛東深緑図　制作年不詳

小川　芋銭
山彦の谷　1921

小川　芋銭
暁山雲　1923

小川　芋銭
紆泉道人洗面之池　1926

小川　芋銭
闘鶏村　1933

小川　芋銭
桃花流水送漁夫　1934

小川　芋銭
卯月の芭蕉庵　1935

小川　芋銭
水郷春日　1936頃

香月　泰男
ナホトカ　1961

熊谷　守一
西日　1955

熊谷　守一
氏家桃林　1956

熊谷　守一
雨水　1959

前室１　線の造形

銅鋳製経筒　1147（平安後期）

オシップ・ザッキン
チェロのトルソ　1956・57

前室２

〈絵画〉

須田　剋太
東大寺　1981

〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コールダー
片膝ついて　1944-48

工藤　哲巳
果てしなく綾糸がまとわるマルセル・デュシャン　1977

荒木　高子
砂の聖書　1983

ラウンジ

野水　信
コの記号　65-3　1965

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン
カリブの女　1983

アルナルド・ポモドーロ
飛躍の瞬間　1984

加藤　昭男
大地　1986

小田　襄
円柱の構造　1988

今井　瑾郎
大地　1992

後期（2006年３月10日－５月７日）

展示室４　20世紀の美術Ⅰ

〈絵画〉

高橋　由一
不忍池　1880頃

黒田　清輝
暖き日　1897

青木　繁
海　1904

小茂田　青樹
漁村早春　1921

小林　古径
洗濯場　その１　1926

小林　古径
洗濯場　その2　1926

速水　御舟
西郊小景　1923

海老原　喜之助
雪山と椎　1930

萬　鐵五郎
水郷風景　1926

熊谷　守一
烏　1938

長谷川　利行
伊豆大島　1937

北川　民次
タスコからの眺望　1933

安井　曽太郎
承徳喇嘛廟　1938

小出　楢重
蔬菜静物　1925

パブロ・ピカソ
青い肩掛けの女　1902

藤田　嗣治
青衣の少女　1925

アメデオ・モディリアーニ
カリアティード　1911-13

アルベール・マルケ
ノートルダムの後陣　1902

アンリ・マティス
待つ　1921-22

ラウル・デュフィ
サンタドレスの浜辺　1906

ピエール・ボナール
にぎやかな風景　1913頃

ライオネル・ファイニンガー
夕暮れの海Ⅰ　1927

パウル・クレー
女の館　1921

ジョアン・ミロ
絵画　1925

エルンスト=ルートヴィヒ・キルヒナー
グラスのある静物　1912

エミール・ノルデ
静物Ⅰ（アマゾーン、能面等）　1915

グスタフ・クリムト
人生は戦いなり（黄金の騎士）　1903

〈彫刻〉

高田博厚
女のトルソ 1937

展示室5　20世紀の美術Ⅱ

〈絵画〉

菅井　汲
ナショナル　ルート　No.11 1964

オノサトトシノブ
三つの黒 1958

アド・ラインハート
No.114 1950

アグネス・マーティン
無題＃3 1991

ジョーゼフ・アルバース
正方形頌 1962

山田　正亮
Work No.B 182 1958

山口　長男
屏形 1963

浅野　弥衛
作品 1979

百瀬　寿
Square-NE XIV：Twelve Stripes E 1987

中西　夏之
K.T 像・オレンヂドア 1966

中西　夏之
K.T 像・グリーンドア III 1966

加納　光於
流動のセミオティク 1982

李　禹煥
WITH WINDS 1988

榎倉　康二
干渉（Story-No.49） 1992

斎藤　義重
作品 1962

ルーチョ・フォンターナ
空間概念 1960

ロバート・ラウシェンバーグ
コース 1958

サム・フランシス
消失に向かう地点の青 1958

モーリス・ルイス
デルタ・ミュー 1960-61

フランク・ステラ
リヴァー・オヴ・ポンズ IV 1969

宇佐美　圭司
ビッグ・バン 1987

中西　夏之
紫・むらさき　XIX 1983

荒川　修作
Blank Stations 1981-82

桑山　忠明
茶白青 1968

〈彫刻・立体〉

堀内　正和
四角と丸の組合せb 1956

ジョージ・シーガル
ロバート＆エセル・スカルの肖像 1965

ルイーズ・ニーヴェルソン
漂う天界 1959-66

展示室6　彫刻

＊ただし、4月8日より
「桑山忠明　ワンルーム・プロジェクト　2006」[4月2日（日）まで]

〈彫刻・立体〉

メダルド・ロッソ
病める子 1893

オーギュスト・ロダン
歩く人 1900

舟越　桂
肩で眠る月 1996

[4月8日（土）から]
桑山忠明　ワンルームプロジェクト2006

〈絵画〉

桑山　忠明
untitled 2001

展示室7　現代美術の多様性

〈絵画〉

森岡　完介
人は何処へ　77-3 1977

森岡　完介
人は何処へ　78-16 1978

安斎　重男
"The 10th Tokyo Biennale, Tokyo Metropolitan Museum, May 1970" 1998

野田　哲也
日記1976年2月11日 1976

野田　哲也
日記1978年2月10日 1978

野田　哲也
日記1978年8月19日 1978

野田　哲也
日記1979年8月10日 1979

野田　哲也
日記1983年2月27日小金井 1983

野田　哲也
日記1987年5月3日柏市亀甲台2-12-4 1987

展示室8　アンドリュー・ワイエス

〈絵画〉

アンドリュー・ワイエス
自画像 1938

アンドリュー・ワイエス
船着場 1940

アンドリュー・ワイエス
海辺のキャロル 1951

アンドリュー・ワイエス
カーナーの農場 1979

アンドリュー・ワイエス
晩秋 1982

アンドリュー・ワイエス
ワードローブ 1985

アンドリュー・ワイエス
粉ひき小屋 1985

アンドリュー・ワイエス
物干し 1985

アンドリュー・ワイエス
鋭い刃 1989

アンドリュー・ワイエス
ドアベル 1990

[4月28日（金）から]

アンドリュー・ワイエス
氷塊 I 1968

前室1

〈考古〉

四区袈裟襷文銅鐸 紀元前1世紀頃

〈絵画〉

村井　正誠
Cité B 1940

前室2

〈絵画〉

瑛九
作品 制作年不詳

〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コールダー
片膝ついて 1944-48

アレクサンダー・コールダー
ゴースト 1976

工藤　哲巳
果てしなく綾糸がからまるマルセル・デュシャン 1977

荒木　高子
砂の聖書 1983

ロビー、ラウンジ

〈絵画〉

中村　一美
破舎仏涅槃図Ⅰ 1993-95

〈彫刻・立体〉

エミール=アントワーヌ・ブールデル
ペネロープ 1909

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン
カリブの女 1983

アルナルド・ポモドーロ
飛躍の瞬間 1984

加藤　昭男
大地 1986

小田　襄
円柱の構造 1988

今井　瑾郎
大地 1992